

令和6年度地域連携戦略会議の結果について

- 次年度以降の企画検討ワークショップを2グループ(Aグループ、Bグループ)に分けて実施。
テーマは、①企画列車、②沿線活性化の企画の2つ。それぞれに対し、各グループでアイデア出しを行い、下記のとおり最終3案ずつに絞り込みを行った。(ペルソナは、沿線外都市部に住む50・60代男女)

テーマ①：企画列車

Aグループ

- ① 健康列車
→マッサージ、サウナ、筋トレなど
- ② 食べ物列車
→スイーツ列車が好評だったとのことより、お茶の飲み比べ等、食べ物を使った企画
- ③ 原宿列車
→50・60代が接点のない文化を味わえる列車(見た目が派手なお菓子を食べられる等)

Bグループ

- ① 年越し列車
→12/31-1/1にかけて列車を運行。年越しそばを食べたり、書初めをして楽しみ、最後は初詣に行く企画。
- ② 止まりたいところで停車できる列車
→撮り鉄の方がよく写真を撮る映えスポットなど、参加者が止まってほしいところで止まるサービス。
- ③ 銀河鉄道999のようなストーリー性のある列車
→おれんじ鉄道の28駅の各駅でいろんなハプニング、物語、仕掛けを考えて、終点で感動のラストを迎えるような列車(謎解きストーリー型)

テーマ②：沿線活性化の企画

Aグループ

- ① コミュニケーションの場を作る
→列車内にも各駅にも人がいて、友達作りができるような機会づくり
- ② 思い出ノート
→各駅にTiktok撮影場所やゲートボールとかできる場所を作って駅毎に特色を出す
- ③ 47都道府県の物産展を各駅に設置してもらう

Bグループ

- ① 各駅に来てもらう理由を作る
→ご当地ソングや駅ごとのメロディを作る、顔ハメパネル設置、花植え等
- ② おれ鉄GO(ポケモンGOのイメージ)
→駅キャラを作って集めていく
- ③ 児童館をつくる(寺子屋)
→子どもの預かりではなく、勉強を教えるイメージ(講師はボランティア等で)